

第四回ねりんピック俳句大会に参加して

文化協会会長 松川 始

来年十月三十一日から十一月三日まで第五回全国健康福祉祭(ねりんピック)が山梨県で開催され、十一月一日(日)には都留市で「ふれあい俳句大会」が開催されます。

大会の準備運営状況を視察するために九月二十二日に大会が開催された岩手県平泉町へ市文化協会役員七名が行ってまいりましたので報告させていただきます。

平泉町は、奥州藤原氏が北方の王者として一世紀にわたり東北六県を支配し、燦然たる黄金文化を築き上げた古都の町であります。中尊寺金色堂、特別名勝の毛越寺など枚挙にいとまがない程の名所旧蹟を有する町であります。

私達はまず最初に平泉町の役場を訪ねました。助役、町民



福祉課長が迎えてくれ、親切に我々の質問に答えてくださいました。

同町では昨年从今年にかけて大会準備のための会議、打ち合わせを十四回も持って万端の準備を整えたということです。その後にお会いした町長、議長も、また町の議員もねりんピックの俳句大会の話になると急に雄弁になり、俳句や芭蕉のことをはじめいろいろなことを話してくださいました。

俳句大会は、開会式を毛越寺で、記念講演や表彰式等は平泉中学校の体育館で行われましたが、どちらもいい雰囲気でしたのですばらしい俳句大会を楽しむことができました。

しかし、私達は句会に参加するというより、むしろ別室にあって運営にあたって町職員の俳句連盟の方達、いわば裏方さん達の仕事を見ることが目的であったので特別の許可を得て本部室を見せていただきましたが、平泉町では大会運営に大変合理的な方法を取り入れており、大いに参考になりました。

平泉は人口九千人の町ですが、町民挙げて、このねりんピックの成功に賭けている様子がうかがえました。タクシーに乗れば運転手が芭蕉や俳句のことを話してくれましたし、店に入れば芭蕉や俳

句にまつわる土産品が売られていました。行く先々に句碑があり芭蕉像が建っていて「なるほど俳句の町だなあ」という印象を深くしました。

また、町の人達も温かく私達を迎えてくれました。街角や会場の庭には老人クラブの方達の丹精込めた歓迎のしるしの草花が秋の陽を受けプランターに咲きこぼれていました。会場の入口には平泉中学校の生徒の俳句「秋風に心ふれあうねりんピック」の垂れ幕が下げられ私達の心を和ませてくれました。会場の中には婦人会の人達によって、撫子、女郎花といった草花がふんだんに活け込まれ、ほのかな秋の香りを漂わせておりました。

芭蕉は平泉には元禄二年五月十三日の一日足をとめただけでしたが、わが都留市には天和三年に半年間滞在した事実があり、芭蕉との因縁の非常に深い土地であります。

私達はこれからこの歴史をもっと深く掘り下げ、芭蕉とのかかわりの中で都留市を「俳句のまち」として活性化して行くことが必要ではないかと思えます。

ふれあい俳句大会の成功に向けて皆さんの御協力をお願いいたします。

ゴミ問題シンポジウム

豊かで多様な消費生活がおびただしいゴミを吹きだしています。ゴミとの付き合い方で私たちの生活は変わってきます。分別・再生利用を図り、ゴミを減らそうという運動は全国的に市民運動としても、取り組まれています。都留市でもゴミ問題をどのように取り組んだらよいか、市民の知恵を

日時 11月24日(日)
午後1時30分～4時
会場 富士女性センター
3階大研修室
連絡先 SANTIキャンパス
ウン都留を創造する市民の会 奥 隆行
☎(43)3132

結果するため、左記により開催しますので、市民の皆様のご参加をお願いいたします。

このたび、南都留地区校長会及び教頭会の先生方から、台風による災害を受けた小・中学校の家庭に対して、災害見舞い金が市長さんに送られました。市では早速被災者の方々へ援助させていただきます。

第三回ワンダー陶芸教室

日時 11月8日(金)正午～9時(土)午前9時～10時(日)午前9時～

場所 富士女性センター
一階ロビー
主催 ワンダー陶芸教室
問合せ 正木一郎
☎(43)3944

台風災害への見舞い金に

文化ホール建設費の一部に
わらび座公演実行委員会
代表 井上敏雄
金二十五万円

雲仙普賢岳火山災害

たすけあい

義援金協力者
八幡ミツエ
都留第二中学校PTA、昭栄会
(九月十三日から十月九日まで、
市福祉事務所取り扱い分)
市福祉事務所では、現在までに
二十七件、三二万五八九一元を
受け入れ、山梨県共同募金会を通
じて長崎県へ送りました。

なご義援金は当分の間受け入れますのでご協力をお願いします。

寄

付

(敬称略)

文化ホール建設費の一部に
わらび座公演実行委員会
代表 井上敏雄
金二十五万円

老人福祉のために
上谷六二二二三
相川泰一 金二十万円
わらび座公演実行委員会
金二十五万円
重度心身障害者のために
中央三三一一一
河村愛子 金五万円